資料4－1

八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画（令和6～8年度）における令和6年度事業評価の結果について

資料4－1

令和８年(2025年)1月27日
八王子市社会福祉審議会
高齢者福祉専門分科会
高齢者いきいき課

八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画における第3章「基本施策」に掲げる主な取組について進捗を確認するとともに各事業所管課において令和6年度の評価を行ったため、報告する。

1. 評価方法

厚生労働省に報告する、計画に記載した取組と目標の自己評価の評価基準に合わせて評価。

評価基準 ◎：達成できた　○：おおむね達成できた　△：達成はやや不十分　×：達成できなかった

2. 計画の柱・方向性別評価一覧（事業のアウトプットレベル）

計画の柱・方向性	令和6年度評価			
	◎	○	△	×
1. 安心 「出逢い、つながり、支えあう地域づくり」	33	34	15	0
【01】住み慣れた地域で、状態に応じた必要な介護サービス等が提供されている	2	3	0	0
【02】医療と介護が一体的に提供され、在宅での生活が継続できている	4	1	0	0
【03】高齢者が安心して暮らすことのできる住まいと住環境が整っている	5	3	1	0
【04】高齢者の権利利益が擁護されている	1	7	1	0
【05】認知症への理解と備えが広がり、認知症の人と共に尊厳と希望をもって暮らしている	4	7	2	0
【06】家族の負担が軽減されている	6	4	1	0
【07】多様な職種や機関が連携して個人や地域の課題を解決している	4	3	3	0
【08】高齢者や介護者の様々な困りごとが、身近な場所で安心して相談されている	1	3	2	0
【09】高齢者の多様なニーズに対応する支援や見守りが、多様な主体から提供されている	6	3	5	0
2. 希望 「やりたいこと、なりたい自分をあきらめない環境づくり」	11	21	6	0
【10】それぞれのライフスタイルに合わせて社会参加を行っている	2	4	3	0
【11】住民が介護予防に資する活動に取り組み、要支援・要介護状態になりにくくなっている	1	11	2	0
【12】望む暮らしの再獲得（リエイブルメント）が可能になっている	6	4	1	0
【13】サービスが効果的に提供され、利用者の状態改善や重度化防止につながっている	2	2	0	0
3. 未来 「世代を超えて信頼できる制度づくり」	4	11	10	0
【14】自立に向けて、必要なサービスを提供するために適切な認定が行われている	0	4	2	0
【15】介護人材が十分に確保され、やりがいを感じながら、無理なく、効率的に働いている	4	6	2	0
【16】高齢者福祉や介護保険事業について、EBPMの考え方と手法が定着している	0	1	6	0
合計	48（33%）	66（46%）	31（21%）	0（0%）
	145（100%）			

3. 各施策の自己評価結果

・講座・研修の開催回数等の直接的なアウトプットを目標としている取組では「◎（達成）」が多い。

・イベント等の参加者数、地域リハ・食ナビの利用者数、てくポでのユーザー活動量など、対象者の行動変容に関する指標でも多くの「◎（達成）」があった。

・「△（達成はやや不十分）」については、数値目標未達成項目のほか、「○○について検討体制を構築する」「○○に着手する」等の目標に対し着手が遅れた項目が含まれている。

詳細は資料4-2のとおり

4. アウトカムの評価について

9期計画では、個々の事業の達成度（アウトプット）を評価するだけでなく、
事業によって目指す効果の達成度（アウトカム）についても指標を設定している。

アウトカムについては計画の最終年度である来年度中に評価・振り返りを行い、10期計画に反映する。

【参考】9期計画における事業評価の考え方

8期計画における事業評価の考え方をさらに発展させて
計画の全体像を可視化した「全体ロジックモデル」と
分野ごとに目指す効果と事業の論理関係及び指標を示した「個別ロジックモデル」を作成。

一つ一つの事業が目的達成にどれだけ貢献したかを客観的に把握しやすくすることで、
事業の改善や統廃合、計画そのものの見直しを、より素早く行える仕組みを目指す。